

概要版

美ら島づくり花の森整備事業  
基本構想・基本計画

【 座間味区 】

平成 25 年 3 月

座間味村役場 総務課  
株式会社 トロピカル・グリーン設計

# 目 次

<b>1章 基本構想</b> .....	1
1. 上位・関連計画.....	1
2. 基本方針の策定.....	2
3. 具体的な整備方針.....	3
4. 基本構想図の作成.....	5
5. 各候補地の整備メニュー.....	6
<b>2章 基本計画</b> .....	7
1. 整備内容.....	7
2. 年次事業計画の作成.....	15
<b>参考資料</b> .....	16
1. アンケート.....	16
2. ヒアリング.....	18

## 1章 基本構想

## 1. 上位・関連計画

当計画に関する上位計画や関連計画を整理した。

■表 上位関連計画と関連する主な内容

	図書・報告書名/発行年月日	当整備事業に関連する主な内容
上位計画	座間味村第四次総合計画 平成 24 年 4 月 発行:座間味村役場 編集:座間味村、総務課	豊かな地域資源が永遠に守られ、人と自然環境が共生する『楽園』 村民が住み心地の良い村、観光客が又訪れたい村づくり 環境の保全ー美しい自然と生活が共生する村づくり ・花木を活用した全島緑化 地域環境美化支援事業の強化や、ボランティア事業の推進と 1 世帯 1 鉢運動の検討 ・モクマオウ等在来種を脅かす外来植物の駆除 外来植物の繁殖実態調査の実施し対策を講じる ・みどりの島から花の島へ 【阿 真 区】:サクラの植栽による桜並木 【座間味区】:高月山にケラマツツジ 【阿 佐 区】:久岳林道にエゴの並木 【阿 嘉 区】:ケラマツツジとイジュ 【慶留間区】:ケラマツツジとイジュ 野鳥やチョウのみられる林の中の遊歩道、散策道、撮影ポイントを設ける(景観の障害となる樹木等の伐採)
	緑の美ら島づくり行動計画 平成 24 年 3 月 沖縄県農林水産部森林緑地課	100 年先を見据えた「緑の美ら島」の創世を目標に 「365 日花と緑と香りいっぱいの沖縄」づくりを展開している  「緑の美ら島の創生をめざして」 「生命あふれる緑の美ら島づくり」 「活力ある緑の美ら島づくり」 「沖縄らしい緑の美ら島づくり」 上記、4 つの目標を掲げ県土の緑化の推進のために策定
関連計画	座間味村鳥獣被害計画書 座間味村役場 産業振興課	鳥獣被害防止特措法に基づく鳥獣被害防止計画 沖縄県と事業の調整中 ケラマジカの対策(天然記念物のため駆除できない) ハシブトガラス、イノシシの駆除
	平成 24 年度阿佐地区避難道路 整備工事	津波時の避難路の整備事業 実施設計終了、H25 年度工事予定
	座間味村外来植物討伐事業	平成 23 年度から 10 年間、モクマオウの伐採を行う

## 2. 基本方針の策定

### 集落内の美化が求められている（観光客の目線）

住民が気づかない集落の景観が、観光客に評価が高いため、花で彩りをもたらすことによって美化の向上を図る事となり、訪問者の増加に繋がる。

### 特産品となり得る植物を増やす

ヤマモモ、パパイヤ、グアバ、シークァーサーなどの植物を増やすことにより将来特産品となる可能性が増す。（特産品は、知名度などからも一定程度の量が必要）

### 管理体制の構築—主体と責任を明確にする、リーダーの育成

職業など立場の異なる住民が参加しやすいグループづくり  
現在、リーダーとなる人材はいるが、将来を見据え新たなリーダーの発掘と育成を事業として立ち上げサポートしていく必要がある。




### 景勝地や展望台などへの誘導を草花緑化により行う

景勝地や展望台といった場所（点）を沿道植栽（線）等で結ぶ

### 圧倒的なボリューム(量)や延長で名所を生み出す

伊江島のユリ、中城のヒマワリのように圧倒的な量、八重岳のヒカンザクラのように一定以上の延長が価値を生み出す。

#### ■写真 先進事例写真

伊江島のユリ	北中城のヒマワリ	本部町八重岳ヒカンサクラ
		
自治体を中心となり、村をあげて活動しており、毎年数万人が訪れる。	緑肥と雑草抑制のために植えたのがきっかけで毎年規模が大きくなっている。	線(延長)としての整備事例 開花期には交通規制をして花を楽しんでいる。

### 3. 具体的な整備方針

#### 1) 植物を使った島おこし

- ① 集落内を花で彩る－楽しみながら暮らせる生活環境をつくる

各戸の庭や路地の空き地などに草花を定期的に植えつける  
 〈例〉季節毎に、年4回の植え替え－植替用の草花の苗が必要

- ② フルーツアイランド

シークァーサー、タンカン、ヤマモモ等の果樹を植林し  
 ホエールウォッチングやサクラ祭りに加えてミカン狩りを行う  
 〈例〉計画的に果樹を増やす当初は農業ではなく観光資源とする  
 －定期的に植林を行うための果樹の苗木が必要  
 －植林もこれまで通りイベントとして行う

- ③ モクマオウの伐採

外来植物討伐事業で今後10年モクマオウの伐採ガラの有効活用  
 〈例〉炭づくり－村内のバーベキューで活用  
 キャンプ場で、各種イベント時のキャンプファイヤーの燃料として活用する

#### 2) 養蜂－座間味のはち蜜

花粉媒介者としてミツバチの導入

上項により、草花や果樹が増える事を見据え、養蜂を検討する。採蜜を行うだけでなく、ミツバチがポリネーター(花粉媒介者)として活動することにより果樹の収量も増やす事が期待できる。

#### 3) 苗木生産

生産拠点の整備－(別事業：産業振興課－補助事業や、既存施設の補修活用)  
 雇用の創出を目的とした事業展開を図る。

- ① 草花の苗木生産

(仮)集落美化事業一年4回各地区で草花の植え替え作業を行う。  
 〈例えば〉観光誘致のための予算を確保し、苗を購入して配布する。

- ② 果樹の生産

フルーツアイランドに向け、計画的に定期的に果樹の苗木を生産し植林する。

- ③ 島野菜の苗木(種)生産

村外から入手していた種や苗を生産して農家に販売する。

- ④ 特殊樹(ブランド樹)の生産

村内の緑化には、慶良間で育てたケラマツツジを使用する。  
 また、ブランド化することにより付加価値を付けて出荷する(海運の費用を補助)  
 ケラマツツジ等の種の保全も行える。

#### 4) 阿嘉区、慶留間区におけるケラマジカ対策

阿嘉区、慶留間区においては農作物だけでなく、屋敷内外の草花も食害を受ける状況にあることから、長期的には、植林等によりケラマジカ本来の棲息域の餌場環境を良くして人里に近づかないような対策を講じるとともに、短期的には植栽する植物や草花を物理的に被害に遭わないための工夫が必要となる。

#### 5) 外来植物（モクマオウ等）の繁殖調査を実施し伐採等の対策を講じる

モクマオウは、潮風に強く成長が早いことから海岸防風林等に利用されそれらが徐々に増えている。そこで本来、島に生えるフクギ、テリハボク等の植物に替えていく必要がある。伐採したらこれらの苗木を植え、フクギ等の苗木が一定の大きさに達したらモクマオウを伐採するなど計画を立てて実施すべきである。

#### 6) 植栽植物の環境圧に対する確認

植栽される場所は地形の特性上、海岸線からそれほど離れることはなく、台風などの時には潮風が吹き付ける厳しい環境にある。

そのため、植栽植物は耐潮風性が強い植物でなければならない。そのため、具体的な場所が決まった場合は、風環境、日照条件、土質を調査し適正な植物を選定しなければならない。

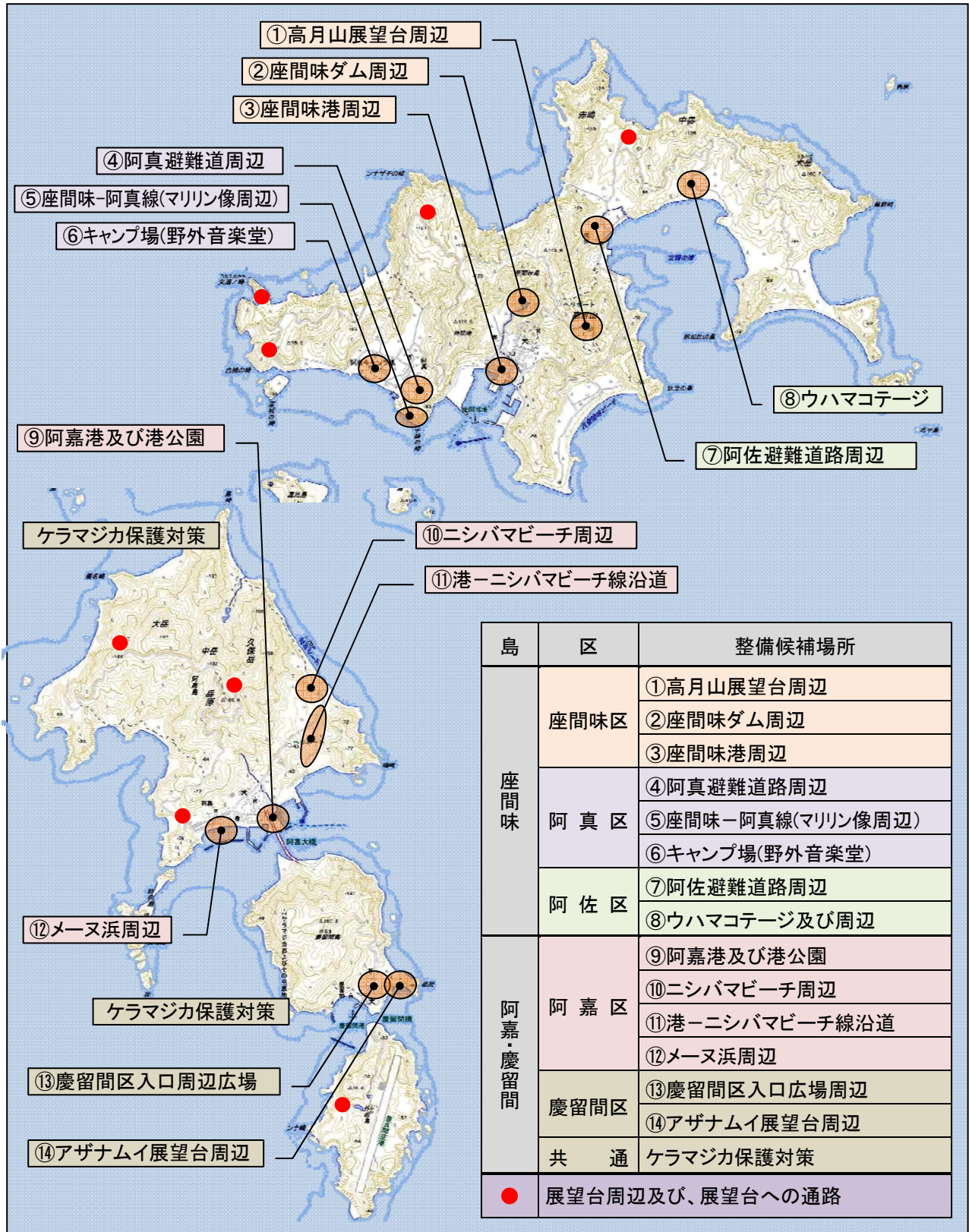
なお、植栽直後は、支柱や仮設の防風ネットなどの設置も必要となる。また、阿嘉区、慶留間区においてはシカの食害にあわぬように対策を講じなければならない



4. 基本構想図の作成

各島、各区の整備候補場所として以下の場所を選出した。

■ 図 整備候補場所全体図



## 5. 各候補地の整備メニュー

■表 整備概要－座間味島

島	区	整備候補場所	整備目標
座間味	座間味区	①高月山展望台周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存植栽の維持管理を充実させ眺望を楽しむと共に周辺の山の植物や草花を楽しめる場所とする。</li> <li>・既存植栽樹木の枯損箇所の補植を行う(環境に応じた樹種選定)</li> <li>・入口部や駐車場周辺を花木で彩ると共に緑陰を確保するための緑陰樹を新植する。</li> </ul>
		②座間味ダム周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進入路沿いや、湖畔外周園路沿いに花木植栽して散策路とする</li> <li>・風環境が良好であることから、日当たりを考慮して季節毎に花の咲く植物を植栽する。</li> </ul>
		③座間味港周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の玄関として港、ターミナル周辺を花とみどりで彩り来訪者を受け入れる。</li> <li>・但し、潮風を被る場所であることから、通常通り地植え下では花木の生育は難しいことから、新型のプランターを用いた緑化を行う。</li> </ul>

※表中の薄文字については優先度が低い事を示している。

■表 整備概要－全域

島	整備候補	整備目標
全域	展望台周辺及び、展望台への沿道緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存植栽の維持管理を充実させ眺望を楽しむと共に周辺の山の植物や草花を楽しめる場所とする。</li> <li>・枯損部に補植を行う(環境に応じた樹種選定)</li> <li>・入口部や駐車場周辺を花木で彩ると共に緑陰を確保するための緑陰樹を新植する。</li> </ul>
	サイン(案内板)整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業により魅力を増した花の名所や村内の史跡名所や展望台などの情報を観光客に伝えるための情報発信の一つとして村内全域のサイン(案内板)を整備する。</li> </ul>
	ガイドマップ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の案内板と連動した、5 区のガイドマップを作成し各地区の魅力を伝える。</li> </ul>



## 2章 基本計画

ここでは整備候補場所の中から、優先度の高い二つの場所について整備案を作成した。

### 1. 整備内容

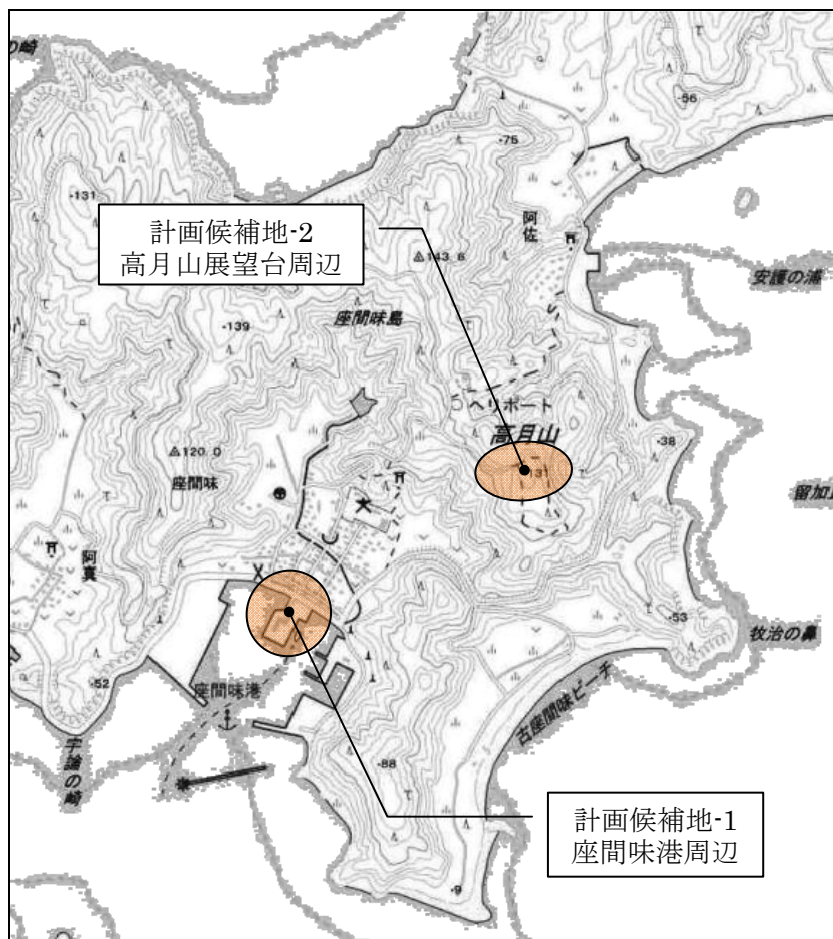
#### ① 候補地-1 座間味港周辺

- ・座間味島の玄関であり、観光客にとっては座間味の美しい海や自然とともに第一印象となる場所である。また、村民の生活の中心地で最も利用される場所である。

#### ② 候補地-2 高月山展望台周辺

- ・高月山展望台は、海拔約137mの高月山に展望台や遊歩道などが整備されており、展望台からは慶良間の海とそこに浮かぶ島々、座間味集落が一望できる。また、集落から近いこともあり人気のスポットとなっている。

■図 計画候補位置図



## 1) 座間味区 座間味港周辺

### 1) 現況

#### ① 風

- ・南に面していることから、冬季の季節風の影響はあまり受けない。しかし周りを海に囲まれているため、台風時には波しぶきを被る場所である。

#### ② 日照

- ・建物の陰になる部分を除けば、基本的に日照は十分である。

■ 図 平面図



■写真 現況写真

<p>写真① ターミナル前広場</p>	<p>写真② 花クジラ</p>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート舗装広場にテーブルベンチが並んでおり夏には観光客で賑わうが、花やみどりがほとんど無く島の玄関としてはやや寂しい状況である。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期になるとポット苗を差し込み、草花を飾っている。</li> <li>・設置場所も考慮したい。</li> </ul>
<p>写真③ 港周辺(総合センター)</p>	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・僅かに植栽されている植物も潮風に強い植物がかろうじて生育している厳しい環境である。</li> <li>・タコノキ、モンパノキ、テリハクサトベラ等が生育しているが、花木の生育は難しい状況である。</li> </ul>	



## 2) 具体的な整備内容

### 1. 大型コンテナを用いた緑化計画

- ・座間味島の玄関で、村民の生活の中心地で最も利用される場所に花と緑を導入する。
- ・但し、植物の生育環境としては非常に厳しいため通常の植栽は厳しい。台風来襲時に移動出来るコンテナ緑化を行う。

#### コンテナ緑化の特徴

- ・設置したコンテナへ植物を植付けた尺鉢を入れ込む方式となっている。
- ・既存植栽スペースの有無を問わず設置が出来る。
- ・底面給水システムの付加によって灌水管理の軽減を図ることが出来る。
- ・開花期や生育状況によって尺鉢やプランターを入れ替えることで、一年を通して高い品質を維持できる。
- ・台風等の被害が予想される際は、台風の接近前に尺鉢を抜き取り避難することができる。

#### ■写真(参考) コンテナ緑化事例

参考写真① 国際通りハイビスカス	参考写真② 同左
	
参考写真③ 国際通りブーゲンビレア	参考写真④ 国際通りクロトン
	

2. 花クジラの有効活用

① 配置の検討

- ・海をバックに記念写真が撮れる場所に設置する。

② 花の充実

- ・季節毎に、年4回程度の植え替えを行う。
- ・草花を圃場等のバックヤードで育成し、取り替え用草花の計画的な生産を行う。

■(参考) 海洋博記念公園の花ジンベイザメ他

参考写真① 海洋博記念公園花ジンベイザメ他	参考写真② 設置状況
 <p>・一年を通して花が美しい、季節毎に入れ替えを行っている。</p> <p>・オブジェの足下にも植物が配置されていて周りの景色になじませる工夫がされている。</p>	 <p>・草花のポットをはめ込む</p>

## ② 座間味区 高月山展望台周辺

### 1) 現況

#### ①風

- ・山の南面に位置していることから、冬季の季節風の影響はほとんど受けない。但し、場所によっては台風のときに塩分を含んだ強風が吹き付ける場所もある。

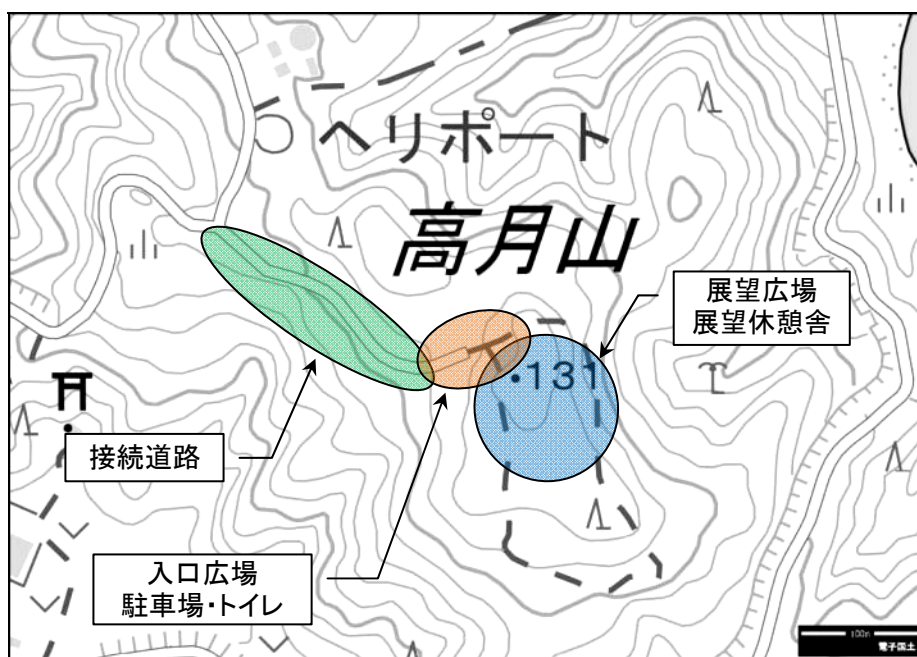
#### ②日照

- ・部分的に日照が不十分な場所がある。

#### ③その他

- ・案内看板はあるが入口がややわかりにくい状況となっている。
- ・車 2~3 台程度の駐車スペースがあるが、夏場は直射日光を受けて暑い状況で木陰がほしい状況である。

■図 現況





■写真 現況写真

<p>写真① 接続道路</p>	<p>写真② 入口、駐車場、トイレ</p>
 <p>・沿道にケラマツツジやサクラが植栽されているが、雑草に負け養分や日照が不足気味である。</p>	 <p>・案内看板はあるが入口がややわかりにくい状況となっている。</p>
<p>写真③ 展望台と座間味港</p>	<p>写真④ 展望休憩舎</p>
 <p>・座間味港、座間味集落を一望することができる展望台が設置されている。</p>	 <p>・展望休憩舎の周りは背の低い雑草が生えている。</p>

2) 具体的な整備内容

1. 既存植物の健全化計画

①間伐、下草刈りによる日照不足の解消

- ・現在も、一部行われているが、不十分で植栽植物が徒長気味である。
- ・間伐の必要のある範囲を決めて伐採作業を実施する。

②肥培管理

- ・植栽植物を確実に活着させ健全に生育させるために定期的に施肥を行う必要がある、また、状況に応じて害虫の駆除などを行う必要がある。



### ③刈り込み管理

- ・道路沿いのツツジやブッソウゲは、定期的な刈り込みを行う事で、樹形を整え景観を維持すると共に、台風時の風当たりを軽減する必要がある。

## 2. 補植

- ①ケラマツツジやブッソウゲ、サクラの枯損箇所は補植を行う。
- ②展望休憩舎の周りは潮風に強く、視界を遮らない中低木を植栽する。

## 3. イメージパース

### ■整備イメージパース（スケッチ、イメージモンタージュ）

#### 座間味－高月山展望台（入口部）



- ・展望台入口部をケラマツツジとブッソウゲといった花木で彩る。
- ・駐車場部にはコバテイシ(落葉)を緑陰樹として植栽する。

## 2. 年次事業計画の作成

事業を進めるに当たり、各区の要望や関連する道路整備状況などを考慮し、下表の順序で整備を行うこととする。

■表 年次事業計画

年度	設 計	工 事	苗木生産
25	座間味島(3区)の実施設計	—	
	苗木生産の支援	阿真区整備工事	準備(体制確保) 生産開始
26	阿嘉・慶留間島(2区)の実施設計	阿佐区整備工事 座間味区整備工事	整備工事にあわせて 随時生産
27	村全域サイン計画・設計 ガイドマップ作成	阿嘉区整備工事 慶留間区整備工事	同上
28	—	座間味村サイン計画	

## 参考資料

### 1. アンケート

#### 【座間味村全体】

##### ■回答者について

結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・親と子、夫婦、一人暮らしの割合が高い。</li><li>・70代以上が一番多く、50代以上が30%を占めている。</li><li>・観光業が40%を占めていることから、地区全体が観光業で成り立っているといえる。</li><li>・観光業の中でも、レジャー業が半数近くを占め、続いて宿泊業が多い。</li></ul>
考察	→観光業を営む住民、高齢者を巻きこんだ事業展開が求められる。

##### ■座間味村について

結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・しまと海の風景が良いとの回答が最も多く、続いて祭り・イベント、村民とのふれあいとなっている。</li><li>・村民とのふれあいも観光客にとっては来る理由の1つであると考えている村民が多い。</li><li>・南国の森や集落の風景は、観光客の目的でないと考えている。</li><li>・約90%以上の方が花や緑をふやしたい、今あるものをきれいにした方が良いと考えており、花や緑への関心が高い。</li></ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"><li>→しまと海の風景が良いと回答が多いが、多くの村民が集落の風景が良いとは思っていないことから、花と緑による集落の風景づくりが求められる。</li><li>→しまと海の風景、村民とのふれあいが観光の目的であると回答が多いので、ふれあう事の多い集落内の美観を向上させることが求められる。</li><li>→村民が行動出来るような計画が求められる。</li><li>→本事業は村民の期待に応える意味でも必要性が高い。</li></ul>

##### ■管理について

結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・A問3の結果を踏まえると半数以上が花や緑はあるべきだと考えているが、行動出来ていないのが現状である。</li><li>・その他(機会や場所が無く、やりたくても出来ない状態)という意見が多い。</li><li>・花や緑に対する知識不足も出来ない理由として挙げられた。</li><li>・時間が無いとの回答もあり、夏場の観光シーズンでは人手不足になる恐れがあると考えられる。</li><li>・40%以上が地域の風景が良くなると感じている。</li><li>・地域の魅力向上とともに観光客増加も期待している。</li><li>・最も多かった要望は植物を配ってもらいたいことである。</li></ul>
考察	<ul style="list-style-type: none"><li>→参加意思はあるものの、参加の機会や場所の提供がないのが実情であることから、花や緑を植えて育てる機会を作ること、場所の確保、管理体制を整える必要がある。</li><li>→地域全体の美意識を高められる管理体制を整える必要がある。</li></ul>

##### ■まとめ

<ul style="list-style-type: none"><li>→管理体制の構築が求められる。</li><li>→年間を通して花が観賞できる植栽計画による明るいイメージ作りが求められる。</li><li>→観光地としての重要性が高いことから、スポット的な美観を向上する必要がある。</li></ul>
--

**【座間味区】**

■回答者について

結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親と子、夫婦、一人暮らしの割合が高い。</li> <li>・70代以上が一番多く、50代以上が半数を占めている。</li> <li>・観光業が半数を占めていることから、地区全体が観光業で成り立っているといえる。</li> <li>・70代以上が多く住んでいることから、無職が2番目に多い。</li> </ul>
考察	→観光業を営む住民や高齢者を巻きこんだ事業展開が求められる。

■座間味村について

結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しまと海の風景が良いとの回答が半数あり、続いて祭り・イベント、村民とのふれあいとなっている。</li> <li>・村民とのふれあいも観光客にとっては来る理由の1つであると考えている村民が多い。</li> <li>・約90%以上の方が花や緑をふやしたい、今あるものをきれいにした方が良いと考えており、花や緑への関心が高い。</li> <li>・薬草や果樹が特産品になるのではないかという意見が多かった。</li> </ul>
考察	<p>→しまと海の風景、村民とのふれあいが観光の目的であると回答が多いので、ふれあう事の多い集落内の美観を向上させることが求められる。</p> <p>→村民が行動出来るような計画が求められる。</p> <p>→特産品となりうるものは多くあるが、継続して生産出来る体制づくりが求められる。</p>

■座間味区について

結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高月山展望台と古座間味ビーチの回答が多かった。</li> <li>・座間味の各地に案内板があると良いという回答も得られた。</li> <li>・島の入口である港周辺、集落、沿道が最も回答が多かった。</li> <li>・一年中咲く花や、四季折々の花など明るいイメージの花色が挙げられている。</li> </ul>
考察	<p>→選択肢の項目が見所として認識されているが、観光客への情報手段が少ない。そこで、見所へのアクセスを促す案内板や説明板による観光客への情報提供が必要となる。</p> <p>→島全体を通して、花や緑を植えたいという要望が見える。特に港や集落、沿道など観光客の目にしやすい場所への希望が多く、観光客を意識した樹種・植栽箇所の抽出が求められている。</p>

■管理について

結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の土地以外の場所では育てていない人が70%以上を占めた。</li> <li>・機会や場所が無く、やりたくても出来ない状態という意見が多い。</li> <li>・40%以上が地域の風景が良くなると感じている。</li> <li>・地域の魅力向上とともに観光客増加も期待している。</li> <li>・最も多かった要望は植物を配ってもらいたいことである。</li> <li>・維持管理面の体制を整えて欲しいとの意見もあった。</li> </ul>
考察	<p>→参加意思はあるものの、参加の機会や場所の提供がないのが実情であることから、花や緑を植え育てる機会を作ること、場所の確保、管理体制を整える必要がある。</p> <p>→意識は高いが、維持管理面、場所、植物入手についての不安が見える。</p> <p>したがって、行政と地域住民の協力のもと維持管理体制を構築することが求められる。</p>

■まとめ

<ul style="list-style-type: none"> <li>→管理体制の構築が求められる。</li> <li>→年間を通して花が観賞できる植栽計画による明るいイメージ作りが求められる。</li> <li>→観光地としての重要性が高いことから、スポット的な美観を向上する必要がある。</li> <li>→観光客に対する説明板の設置やスポット巡りが出来るようなルート設定が求められる。</li> </ul>
--

## 2. ヒアリング

ヒアリングの結果以下のような住民の声や思い、要望があった。

### 【座間味村 全域】

- 昔から各展望台にいたる沿道や展望台周辺には、ケラマツツジ、サクラなどを植栽しており、きれいに咲いた時期もあった。
- 昔は、カツオを蒸すために松の木を燃料として使っていたので松の木を造林していた、他にイヌノキなども植えていた。
- 最近では、山道を散策する人も増えており、散策路の整備も重要である。
- H15～18年頃にも「花の森構想」があったが実現しなかった経緯がある。
- ツツジをもっと村外にアピールしてほしい。
- 島に植栽チームをつくって活動してほしい、特にまとめ役となるリーダーが必要。
- 案内板が不十分である。、村全体で統一感を持ってつくられると良いと思っている。
- カラスが、グアバやシークァーサーなどの果樹を食害するので駆除してほしい。
- 集落の中心部は特に建物の統一感があると良いと思う。(ブロック塀を生垣で統一するなどできることから始めれば良いと思う。)
- 集落の中に季節を感じる草花がたくさん植えられると良い。
- 冬場はやや時間があるので、植栽管理など地域のボランティア活動などには積極的に参加したい。
- 植栽した植物が定着するまでの水やりなどのフォローをしっかりと行ってほしい、例えば、水をかける時の取水場の提供や、その料金負担などしっかり考えてほしい。
- 道路の植栽管理などを、区ごとに競わせ良いところに表彰しても良いのではないかな。
- 植樹する樹木をオーナー制にして管理してもらう方法も良いのではないかな。個人だけでなく団体でも良いと思う。
- 管理体制を続けられる仕組みにしてほしい。例えば村の担当もすぐに変わりそこでとぎれてしまう事が多いので継続できる仕組みを考えてほしい。
- 植栽材料はできる限り、村外から持ち込まず地元で生産した材料を使って植樹してほしい。
- 資料館を設置し、慶良間諸島固有のケラマジカについて展示したり、ツツジ園、ヤマモモ園などのミニ植物園などの整備ができれば良いと思う。

### 【座間味区】

- 20年ぐらい前から高月山までの沿道や展望台周辺にケラマツツジ、サクラ、ブッソウゲなどを青年会や婦人会などの様々な団体が植栽している。
- その苗木は、個人が地元の木から増やした苗を植えていた。
- 植栽後の管理が不十分であったため、今後は管理をしっかり位置づけて計画を立てて定期的に行ってほしい。
- 古座間味ビーチ周辺では、スイセンやヒマワリを大面積で植えていた時期もあった。
- 区長を中心に「緑化委員会」のような組織をつくり専門家もいるのでアドバイスを受けて取り組めれば良いと思う。
- 港のターミナルやセンター付近に草花を植え、島を訪れる観光客が船から、又は船を下りた際に楽しめるようにすべき。(歓迎されている気分になると思う)